

野馬土の新聞

(Web版)

2018年1月号

特定非営利活動法人
野馬土

相馬市石上字南白鬚320
TEL.26-8437
FAX.26-8203

浦上財団贈呈式に出席

一月十五日、仙台市にて(公財)浦上食品・食文化振興財団による支援事業贈呈式が行われ、理事の酒井が出席しました。野馬土は二年連続で被災地三県の農業や食の未来に関わる事業を行う復興支援団体に選定され、



ホテルJALシティ仙台にて開催された贈呈式に参加した酒井理事(後列右から6番目)

太陽光設備に“柵”設置

一月二十四日小高区金谷で、太陽光設備に柵を設置するため(株)光テクノサービス、合同会社金谷村守りソーラー、特定非営利活動法人野馬土の三社立ち合いのもと、合同で柵を設置する場所の現地調査を行いました。今回の調査を基に見積書を作成してもらい、金谷地区における柵の設置方法を検討し設置を行っていきます。



前年度の活動実績に加えて今春始動となる逆境の中奮闘する福島から子供達や若い世代に“農と食”の魅力をPRする 果来の農家の種を蒔く『の広報活動を紹介してきました。財団理事長より支援のし甲斐がある素敵な取り組み』との言葉も頂きました。今後の事業活動に際し、関係者皆様の協力もぜひとも宜しくお願いします！



今年もアッキーが来たヨ!

かフェにきてケロ!



寒い日が続き体調管理に余念がない毎日、甘酒で心も身体も温かくしませんか。カ

フエ野馬土では、直売所で販売している甘酒を使った『くしまの桃とあま酒のふんわりラテ』を提
供しています。
モコモコの泡と
優しい甘さの
ラテをぜひご
賞味ください。



NHKの撮影が今年もやってきました。アッキーが公共交通機関を使って東北を旅しながら被災地の今をリポートする企画で、かれこれ四〜五年のお付き合いになります。今回は八十歳にして地域の農業復興に情熱を傾ける南相馬市小高区金谷の佐藤忠吉さん
をご紹介。太陽光発電の傍らで菜種、お米の大規模経営へ挑戦の心意気を話していただきました。

第七回東北お遍路フォーラム

大震災の被害を受けた東北四県の慰霊・鎮魂の祈りと語り継ぎたい物語を紡ぎ、被災地を訪ねるひとたちの道しるべと復興の応援に繋がる観光拠点をつくる活動を続ける『東北お遍路プロジェクト』のフォーラムが南相馬で開催され、パネラーとして三浦代表が登壇。相双地区の観光の未来」をテーマに被災地ツアーで年間四千人をガイドする野馬土の取組みと避難解除となった原発二十キロ圏内で始まる新たな事業について紹介しました。

野馬土理事会・新年会

一月二十日(土)、理事会と新年会を相馬駅前「遼暁」にて開催しました。午後四時から始まり、野馬土の活動報告と今後の活動内容について協議をしました。終了時間の午後五時半まで熱心に耳を傾けて下さる理事の皆様よりたくさんのご意見を頂きました。理事会終了後は新年会も開催され、美味しい料理とお酒に囲まれて理事と職員との交流の場となりました。大変有意義な時間となりました。



一月二十二日から降り続いた雪の影響で、翌二十三日は辺り一面が銀世界に。直売所の駐車場には約二十センチの雪が積もり、ご来店のお客様に不便のないよう、職員一同雪かきに励みました。駐車場の除雪が終わった後は、お約束?の雪だるま&かまくら作り。相馬で稀に見る雪の多さに、童心に返り思わずはしゃいでしまいました。(只野)

